

児童文化	1年 前期			演習 2 単位	担当教員名	尾 崎 律 子
	卒選	幼選	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育実践を意識した講義・発表体験を通して児童文化を理解する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童文化に関する基礎知識を理解する。</li> <li>・ 児童文化が子どもの発達にかかわることを理解する。</li> <li>・ 制作・発表等を主とする演習を通して基礎的な技術を習得する。</li> </ul>						
授業の概要 児童文化の歴史的背景などの基礎知識を理解し、児童文化は保育の現場で子どもの成長や発達に、重要な影響を与えていることを学習する。玩具の制作、絵本の読み聞かせや紙芝居の実演などを取り入れることにより児童文化財を身近に感じ、豊かな保育が展開できるように学んでいく。						

授業計画

コマ(回)	項 目		内 容	
1	児童文化とは		・オリエンテーション                      ・児童文化の歴史	
2			・児童文化の現状と課題                      ・児童文化が保育実践に与える効果	
3	児童文化財を保育にいかそう	絵 本	・絵本の特徴                                      ・絵本によって子どもはどうか成長するのか	
4			・絵本の読み聞かせの方法と発表	
5				
6		伝承遊び	・伝承遊びとは ・伝承遊びの魅力(折り紙、こま、お手玉、あやとり、わらべうたなど) ・伝承文化、年中行事について	
7				
8		玩 具	・玩具とは                      ・玩具と遊具                      ・玩具と子どもの育ち	
9			・玩具の制作	
10		シアタースタイルと手遊び	・さまざまなパペット人形、ペープサートの制作と演じ方 (カラー軍手のバクバク人形・靴下のへび人形など)	
11			・手遊びの魅力	
12		紙芝居	・紙芝居の歴史                      ・紙芝居の種類                      ・紙芝居の特性	
13			・紙芝居の演じ方	
14		保育の実際を考える		・児童文化財を生かした保育実践
15				・保育実践の反省と今後の課題                      ・講義のまとめ
定期試験	なし			
テキスト	児童文化がひらく豊かな保育実践(保育出版社)			
参考図書	必要に応じて適宜資料を配布			
教員の評価方法	授業態度(10%)、発表(40%)、制作(30%)、レポート(20%)の総合で評価			
準備学習等履修上の留意点	絵本・紙芝居など、発表のための事前準備をしっかりと行う。テキストの次回講義内容を通読。			